



「ガンジス川にてー牛たちの沐浴」

福島雅行(佐世保市役所職員組合)さん作品



連合長崎

会長 小石 隆

皆様、明けましておめでとうございます。明るく和やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年は衆議院の解散総選挙を常に意識しながら、特に福田総理の突然の政権投げ出しから麻生総理誕生後の秋年は慌ただしく、その反面期待感膨らむ

時でもありました。それは昨年が、生活者を直撃した燃油高騰、消えた・消された年金、人間の尊厳をも否定する後期高齢者医療制度、食への不安を齎した相次ぐ食品偽装等々の上に、アメリカ発の世界不況は麻生政権の迷走、無策も相まって日本経済を直撃、労働者は人員整理の大嵐の中であってその変革を求めており、政治の貧困に苦しめられている勤労者、生活者、社会的弱者の怒りは頂点に達しているからです。

社会全体に大きな不信・不安感、怒りと期待感が相対している今年日本の将来、私たちの現在そして将来を大きく左右する極めて重要な年であり、それ故にローカルセンターとしての連合長崎、労働組合の真価が問われてもいます。その大きな課題の一つは、急激に悪化している雇用情勢の中で、如何に組合員、非正規労働者等勤労者の雇用・生活を守るかということ、二つは、疲弊・閉塞感漂う社会を変え、明日への希望を取り戻すため今年の総選挙において何としても政権交代を成し遂げることであります。労働組合には社会の不条理に対して闘う姿勢を持ち、行動することが求められています。そしてその運動の視点は「温かく支え合う」ことにあると思います。是非、皆さんと気持ちを一つにし、力を結集することによって、格差のない安心・安全な地域社会を実現しましょう！

今年が皆様にとりまして健やかで希望あふれる年になりますようご祈念申し上げます。



日本労働組合総連合会
会長 **高木 剛**

新年おめでとうございます。

歴史の転換点、希望の国へ舵を切る年、2009年を迎えました。

世界中を席卷した新自由主義が掲げてきた自由な金融市場のイデオロギー、グローバルスタンダードと呼ばれた市場原理主義が暴走の末破綻、世界同時金融危機を巻き起こし、その終焉を迎えました。迎えた2009年は、これまでの流れから大きく舵を切る、歴史的転換点の年にしなければならない年です。

市場原理主義は大きな爪痕を残しました。社会的公正や安心・安全という社会の岩盤が揺らぎ、格差は拡大し、貧困が増加しました。競争は熾烈を極め、ゆとりのない不安と不信の社会を招来、コミュニティも崩壊しています。これが市場原

理主義を推し進めた結果であり、強い怒りを禁じえません。

むきだしの競争社会では人は生きていけない。「連帯と相互の支え合い」という協力原理が活かされる社会、ぬくもりのある思いやりの社会とするため幅広い国民的合意を形成しなければなりません。不安と不信の国から希望の国へ。価値観の転換を図るためのキーワードは「連帯」「公正」「規律」「学びと育ち」「包容(インクルージョン)」といった言葉になると思います。

そして、この歴史的な転換の年に、連合は結成20周年を迎えます。労働運動もこの節目にさらなる飛躍を遂げなければなりません。2009年こそ将来に希望が持てる日本に変える年にする。国民の怒りの先頭に労働運動が立ち、パラダイムの転換を牽引していく。社会からの期待に沿えるよう、連合運動総力を挙げることをお伝えし、同時に皆さんのご奮闘を心からお願いし、新年の挨拶とさせていただきます。



衆議院議員
高木 義明

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

さて昨年の米国発の金融危機は、わが国にも大きな影響を及ぼし、経済・雇用・生活に重くのしかかっており、迅速な対応が迫られています。

アメリカでも「チェンジ」をアピールしたオバマ氏が、次期大統領に選出され、世界は「変革」の流れにあ

ります。

しかしながら、わが国は、食の安全、年金の信頼、医療の安心、雇用の安定、地方の元気等々、どれもみな国民の生活にとって大切なものが次々と崩壊し、とりわけ官僚主導政治は将来に希望が持てない危機的状況にあります。

いよいよ今年は衆議院総選挙、政治決戦の年です。

私は、政治の原点である「国民の生活が第一」を念頭に、決意新たに皆様のご期待に応えるべく、全力を傾注致します。

どうぞ、さらなる皆様の力強いご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、あわせて皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。



衆議院議員
山田 正彦

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、アメリカの金融危機に端を発する、世界的な経済問題で、日本も大きなダメージを受けました。

特に、派遣労働者など、非正規社員の方々へのしわ寄せは、今後の雇用問題として最優先課題として取り組まなければなりません。

働く仲間たちが、安心した生活を送れるような制度の確立に全力を挙げたいと思います。

さて、民主党が掲げる「国民の生活が第一」というスローガンこそ、今の国民が求めているものであると考えます。

政権交代を実現し、政治を国民の手に取り戻さなければなりません。

決戦の時は近づいてまいりました。

民主党に課せられた責務を果たすためにも、連合長崎のお力添えが必要であります。

新しい年が、皆様にとって希望に溢れる年となりますよう、心より祈念申し上げます。



参議院議員

西岡 武夫

二大政党による政権交代可能な議会政治の実現は、長年の私の念願でした。

前回の参議院議員選挙を分水嶺として、政治状況は、目標に向かって大きく前進しました。

ここに至るまで、連合の皆さんの力がなければ不可能でした。

現在の自民・公明連立政権は、統治能力が疲弊し、崩壊寸前の様相です。

その証は、米国経済危機に当たって、麻生総理は当初、日本経済は大きな傷を負っていない、と述べ、その深刻さを認識していなかったことに象徴されます。その上、二次補正予算案を臨時国会に提出できませんでした。

しかし、それでも、政権の持つ力は、最後まで侮れません。

民主党が、新年を迎えて取り組むべきことは、全ての候補者の努力を再点検し、艇入れすることです。そうして、民主党が、政権獲得と同時に打ち出す基本政策と、その実施についての具体的な内容と手順を、国民の皆さんの前に明示出来る準備に直ちに取り組むことです。



参議院議員

犬塚 直史

新年明けましておめでとうございます。いつもお世話になっている皆様に心から感謝を申し上げます。

市場原理を最優先、あらゆる公共サービスを民営化する政策が大きな曲がり角を迎えています。マネーゲームの行き過ぎによるサブプライム問題はAIGの破綻という形で長崎でも身近なものとなりました。さらに深刻なのは300兆円とい

われるイラク戦争を契機に、戦争・安全保障の民営化が進んでいることです。

アメリカでは、民主党大統領のオバマが登場しました。冷戦後の世界秩序がどんなものになるのか、これからが正念場です。

放置できない農林水産業の復興を図ることはそのまま環境適応、地域の活性化につながります。食糧とエネルギーの自給を図ることが経済・雇用対策につながる。そんな大きな転換が必要です。

政権交代によって、こうした政策を実現するよう、共にがんばりましょう。新春にあたり皆様のますますのご健勝、ご多幸を祈念申し上げます。



参議院議員

大久保潔重

新年明けましておめでとうございます。

日本労働組合総連合会長崎県連合会の皆様におかれましては、それぞれの気概や抱負を胸に、新しい年をお迎えになられたことと心よりお慶び申し上げます。

皆様のお力で参議院に送り出して頂いて以来、はや1年半が経過しました。衆参で与野党の数が逆転しているという、所謂ねじれ国会の中で、二度にわたる政権投げ出しの末にやっと誕生した麻生内閣ですが、これま

た解散総選挙を打てずに、またアメリカ発の金融危機に端を発した国内景気の低迷や雇用状況の悪化などに対応できずに迷走しているのが現状であります。

中小企業対策や労働・雇用問題の対策などは急務であり、併せて医療や介護の充実により国民不安を解消！第1次産業の所得保障などで農山漁村の再生！高速道路無料化・暫定税率廃止などで地域経済・流通の活性化！など総合的な政策の実行が必要だと考えております。来る総選挙で我々が勝ち、民主党政権の皆様と一緒にこれらの実現に向け、頑張る所存であります。

今後とも皆様の更なるご指導、ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。本年が皆様にとりまして飛躍の年となりますよう、併せて組織のご発展を心から祈念申し上げます。年頭のご挨拶と致します。



長崎県退職者団体連合

会長 廣川 豊

新春のお慶び申し上げます。

激動の真っ只中、私ども長退連（16団体11,000名）は、団結して喫緊の生活課題である年金・医療・介護をはじめ諸制度の改善を目指して活動を展開し、とりわけ、人の命を差別する後期高齢者医療制度の廃止のために全力を傾けてきました。

イギリスの作家ジャン・パウロは「老齢が悲しいのは喜びがなくなるからではなく希望がなくなるからである」という名言を遺しました。人間は夢がある幸です。人間の幸は希望です。政治の心髄は、国民に希望を作り夢を与えることです。いまの「自公の政治」は、全く国民の生活・命を見ていません。「人間最後の日のために人生がある」終わりまで輝いて生き抜こうと努力している私ども老人から希望を奪い取る虐政です。しかし全国80万の退職者連合と現役総連合の反撃でついに政府を追い詰め国を動かし始めています。麻生内閣は早くも末期症状を呈し「2度あることは3度」政権投げ出しも近いとの見方も出ています。この政治の流れを加速して総選挙に勝利することが「廃止」への近道です。現退一致で頑張らしましょう。



長崎県知事
金子原二郎

新年明けましておめでとうございます。

県民の皆さまには、おすこやかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、九州新幹線西九州ルートに着工や、諫早湾干拓事業の完成、「長崎の協会群とキリスト教関連遺産」の世界遺産に向けた本格的な取り組みなど、本県にとりまして新たな第一歩を踏み出す年でありました。

本年も、これらの事業の進展に併せて、県民の皆さまが将来に希望が持てる元気な長崎県づくりに、懸命に取り組んでまいります。

世界的な金融危機の影響を受けて、本県経済と雇用も厳しい状況になっておりますが、県といたしましても中小企業の皆さまの資金繰りを支援するための長期低利資金や雇用の確保対策など、国や関係機関、地元自治体と一体となることができる限りの支援を行ってまいります。

また、長崎ならではの歴史・文化を活かした観光の振興や、長崎ブランドの確立による農水産業の振興にも努めてまいります。

本年が、皆さまにとりまして素晴らしい年となりますよう心からお祈り申し上げ、新年のごあいさついたします。



2区推薦候補
福田えりこ

明けましておめでとうございます。

連合の皆様には昨年、次期衆議院選挙2区のご推薦を頂きありがとうございました。

結局、衆議院は08年内には解散されず、「政局より政策が大事」と主張し、景気・金融対策の実行を打ち出した麻生首相ですが、その内容も、定額給付金のばら撒きなど、あまりにも刹那的で、未来への確信がありません。

麻生総理の視線の先には、国民はいません。人の命と人生がどれほど尊いものか、分からない政治はもうありません。

昨年の立候補表明以来、私は多くの方々と直接お会いし、現場のお話をお伺いする中で、ますます政権交代が必要と感じています。

今後とも、日々成長し、2区の皆様の良きパートナーとして選んで頂けるよう頑張っていきます。

昨年に引き続きご支援とご鞭撻をよろしくお願い致します。

今年が皆様方にとって幸多い年となりますよう祈念申し上げます。



4区推薦候補
宮島 大典

新年明けましておめでとうございます。

昨年は総選挙間近との緊張の中、皆様には一方ならぬご厚誼を頂き心より御礼申し上げます。

さて昨年後半来の金融・経済危機は深刻であり、百年に一度と言われるのもあながち言い過ぎではないと感じます。特に雇用情勢は悪化の一途を辿りつつあり、非正規労働者の相次ぐリストラを中心に今後は正規従業員へと及ぶことが懸念されます。一方この事態にすばやく対応すべき政府の対応は鈍く、麻生総理には国民の痛みや苦しみが全く理解できていないと言わざるを得ません。緊急経済対策を越年させたり、2兆円バラまけば国民の生活がよくなると考える今の与党の政策には行き詰まりを感じ、二代続けての政権投げ出しと相まって最早与党の政権担当能力は限界に達しています。

今こそ政権交代を実現し、国民の生活を大事にする殊に働く人たちを守る政治を断行しなければなりません。今年は大決戦の年。皆様の最後までのご支援をお願い致しますと共に、この一年のご健勝ご多幸をお祈り申し上げます。

雇用環境の悪化にすばやい対応と 便乗リストラには徹底した監視強化を要請!



連合長崎は九州ブロック連絡会と連携し、米国発の金融危機に伴う深刻な雇用環境の悪化を受け、12月12日に長崎労働局・長崎経営者協会、18日には、県に対して、「緊急雇用対策にかかる要請書」を提出してきました。内田労働局長は、「すばやい対応と企業に対する監視強化を行っていききたい。また、ピンチをチャンスに変えるような対策を打っていききたい。」と回答し、経営者協会においては、「各企業に対して注意を喚起していききたい。」との回答がありました。

また、18日には県に対して、会社更生法適用の企業にかかる緊急雇用対策と関連企業に対しての緊急対策の実施を強く要請してきました。この中で、小島産業労働部長は、「労働局と一緒にあって、緊急雇用対策本部を設置した。スピード感を持って雇用対策にあたりたい。30日まで緊急の雇用対策相談窓口を開設して対応したい。内定取り消しについては企業グループ内などで対応できないかなど要請したい。今後も全力をあげて取り組んでいく。」と回答を行いました。



**スピード感をもって全力で対策を講じていく—長崎県
緊急雇用対策本部を設置して対応する—労働局
内定取り消し等については注意を喚起していく—経営者協会**

— 新年あけましておめでとうございます —



副会長
中崎 幸夫
(自治労)



副会長
江口 茂広
(基幹労連)



副会長
田端 康弘
(電力総連)



副会長
渡邊 昭吉
(UIゼンセン同盟)



副会長
岩永 洋一
(J P労組)



副会長
明石 佳成
(日教組)



事務局長
田中 賢治
(基幹労連)



副事務局長
森田 豊
(自治労)



副事務局長
谷頭 肇
(基幹労連)



副事務局長
浦本 和明
(基幹労連・佐世保地協)



副事務局長
佐竹 明彦
(全国一般)



副事務局長
本多 毅
(電力総連・長崎地協)



執行委員
松尾 悟
(サービス・流通連合)



執行委員
田島 令士
(自動車総連)



執行委員
宮崎 辰弥
(情報労連)



執行委員
益満 政彦
(電機連合)



執行委員
野原 秀昭
(交通労連)



執行委員
太田 清
(運輸労連)



執行委員
松尾 和昭
(全国一般)



執行委員
藤澤 恒昌
(全駐労)



執行委員
川代 実夫
(海員組合)



執行委員
谷川 厚
(都市交)



執行委員
長石 弘顕
(自治労連)



執行委員
酒井 啓介
(私鉄総連)



執行委員
岩崎 勉
(全自交労連)



執行委員
嶋 三郎
(国公総連)



執行委員
手嶋 康人
(J R連合)



執行委員
隠崎 智
(全国ガス)



執行委員
嵩 靖文
(長崎私交通)



執行委員
原田 敏春
(長崎地協)



執行委員
菊永 昌和
(佐世保地協)



執行委員
岩口 修
(大東地協)



執行委員
東 隆司
(諫早地協)



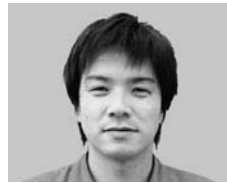
執行委員
森 優子
(J P労組)



執行委員
原野 昭子
(自治労)



会計監査
太田 吉弘
(日教組)



会計監査
川田 隆往
(電機連合)



会計監査
入江 良美
(交通労連)



書記
草野 いづみ
(連合長崎)



書記
深江 絵美
(連合長崎)



書記
本郷 栄子
(佐世保地協)

2009年
みなさんとともに
頑張ります！
よろしくお願ひします